

HPGL HPGL2からDWFデータ変換ソフト OFI



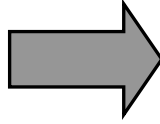
Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

HPTODWF H2TODWF OFITODWF

HPGL HPGL2 OFI



DWF

(Design Web Format)

特長

- HPGL, HPGL2, OFI から DWF データ (V06.00) に変換します。
- 出力された DWF データは Autodesk 社の DWF Viewer ver4.1, Ver5.0 での読み込みが確認されています。
- コマンドラインから入出力ファイル名をキーインする事で実行されます。
- 変換時にスケール、シングルページ、原点移動といったパラメータの指定が可能です。
- 入出力フォーマットの属性パラメータやオプションパラメータを設定できます。
- 属性パラメータで URL の埋め込み、DWF データの圧縮、非圧縮の指定が設定できます。

対応 OS

Windows XP

標準価格

製品名	価格
HPTODWF	20 万円 (税抜き)
H2TODWF	25 万円 (税抜き)
OFITODWF	25 万円 (税抜き)

操作方法

HPTODWF、H2TODWF、OFITODWF はコマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じようにコマンドラインからの実行やバッチファイルへの組み込みが可能です。

「コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開き、その中で実行します。変換時にオプションを指定することで様々な変換処理が可能となります。

HPGLX から DWF データに変換するには次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
HPXTODWF 入力ファイル名 -O 出力ファイル名 -各オプション
```

[操作例]

HPGLX データ [Sample.hpX] を DWF データ [Sample.dwf] に変換します。

```
HPXTODWF Sample.hpX -OSample.dwf -Zdwf_out.atr
```

ただいまファイル変換中です。

HPXTODWF 変換終了

HPXTODWF	: 実行モジュール名
Sample.hpX	: 入力ファイル名
Sample.dwf	: 出力ファイル名
dwf_out.atr	: 出力属性ファイル名
-O	: 変換結果を出力するファイル名を指定するオプション マイナス記号とアルファベットの「オー」です。 -O と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。 変換前と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。

※オプション指定は大文字でも小文字でも構いませんが、全角文字は使えません。

※オプションの詳細についてはオプション項目を参照下さい。

実行時のオプション

- A : 指定したサイズ(-P)に収まるように縦横比を維持してスケーリングを行います。
- S[SCALE] : 全体のスケール値を設定します。(初期値:1.0)
- AJ : 指定した出力サイズ(-P)よりも大きい場合のみ、そのサイズに収まるようにスケーリングを行います。
- AG : 入力データの最小値を自動的に第一象限の(0,0)座標に移動させます。入力データの原点が用紙サイズの真中または第一象限から離れた所の図形を自動的に第一象限に引き寄せます。
- P[size] : 用紙サイズを指定します。(A0:0 A1:1 A2:2 A3:3 A4:4)
- X[X-OFFSET] : X方向のオフセット値設定 [単位:0.01mm] (初期値:0.0)
整数部のみ入力 (小数点入力不可)
正の数のみ有効になります。
- Y[Y-OFFSET] : Y方向のオフセット値設定 [単位:0.01mm] (初期値:0.0)
整数部のみ入力 (小数点入力不可)
正の数のみ有効になります。
- M : 入力ファイルがマルチページファイルの場合、全てのファイルを複数のマルチページファイルとして出力します。
- MFILE[cols, pages] : 入力ファイルがマルチページファイルの場合、全てのページを複数のファイルに分割して出力します。各ページの出力ファイル名は、指定した出力ファイル名にページ番号を付加したものになります。
- OPEN[pen_file] : ペン番号の情報をファイルに出力します。

- U[IN_ATTR_FILE] : 入力属性ファイル名
(初期値:hp2_in. atr, hpgl_in. atr, ofi_in. atr)
- Z[OUT_ATTR_FILE] : 出力属性ファイル名 (初期値:dwf_out. atr)
- BATCH[batch_file] : バッチファイルを使って、複数ファイルを一括処理します。

<使用方法>

処理の内容を記述したバッチファイル-BATCH オプションで指定して実行します。
(各変換処理のログを残す場合は、-RIREKI オプションも指定します。)

```
実行モジュール名 -BATCH バッチファイル名 [-RIREKI 履歴ファイル名]
```

<バッチファイルの作成方法>

- ・バッチファイルはテキスト形式で、1行につき1件の処理を記述する事ができます。行数に制限はありません。各行には、入力ファイルやオプションパラメータなどを、コマンドラインに記述するのと同様の形式で記述します。このとき、実行モジュール名は記述しません。通常は次のような形式になります。

```
入力ファイル -O 出力ファイル [オプションパラメータ]
```

- ・入力ファイルと出力ファイルの指定では、ワイルドカード(「*」など)を使う事ができます。入力ファイル名でワイルドカードを使うと、それに該当するファイル全てについて、それぞれ処理が行われます。出力ファイル名にワイルドカードを使うと、対応する入力ファイルの拡張子を変更したものが出力ファイル名となります。(したがって出力ファイル名には、必ず拡張子を指定する必要があります。)
- ・通常は、バッチ処理の途中でエラーが発生しても処理を続行しますが、次の行をバッチファイルの先頭部分に記述しておくと、エラーが発生した時点でバッチ処理が中断されるようになります。

```
$break
```

- ・先頭が「#」の行はコメント行とみなされ、無視されます。

<バッチファイルの例>

- (1) ディレクトリ DIR_A の中の拡張子. data のファイルを全て、ディレクトリ DIR_B の中の拡張子. dt のファイルに変換します。

```
dir_a\*. data -Odir_b\*. dt
```

- (2) 拡張子. data のファイルを全て連結して1つのマルチページファイル test. dt に変換します。(注:この処理は、マルチページ出力可能なフォーマットのみ有効。)

```
*. data -Otest. dt -M
```

- (3) (2)と同様ですが、途中でエラーが発生したら処理を中断します。

```
$break
*. data -Otest. dt -M
```

<制限事項>

- ・バッチファイル内で指定できるファイル名(ディレクトリを含む)は最大 255 文字までです。
- ・スペースを含むファイル名を指定する事はできません。
- ・入力ファイル名にワイルドカードを指定した場合、処理されるファイルの順番はアルファベット順になります。
- ・出力ファイル名には、必ず拡張子を指定して下さい。
- ・バッチファイルの中に-BATCH オプションを記述する事はできません。

<バッチファイル作成上の注意>

- ・バッチファイルはテキスト形式で作成して下さい。
(例: Microsoft Word で作成する場合は『テキスト改行』でファイルを保存して下さい。)
- ・バッチファイル内の項目は半角英数字で作成して下さい。

属性変換データパラメータファイル

属性データ変換パラメータファイルには、初期状態では
HP-GL2 入力データ用hp2_in. atr
HP-GL 入力データ用hpgl_in. atr
OFI 入力データ用ofi_in. atr
DWF 出力データ用dwf_out. atr
があり、この内容を変更する事で様々な変換が可能となります。

◆入力属性データ変換パラメータ

IN_VERSION	: 入力データフォーマットを変更
GENTEN_MODE	: 入力データの原点調整
VECTOR_ROT	: Vector/Raster 混在時の回転を調整
CLIPAREA_MODE	: Vector/Raster 混在時のクリップ命令の対応を調整
IN_SYMWD, INSYMHT	: 入力データの文字高さ、文字幅を倍尺で指定
PENCOLOR	: 入力データのペン番号と色番号を変更
HML_COLOR	: 太線 (H)/中線 (M)/細線 (L)にペン番号を指定 (ofi_in. atr のみ)
HML_LINEWIDTH	: 太線 (H)/中線 (M)/細線 (L)に線幅を指定 (ofi_in. atr のみ)

<HPGL2 入力データ用変換属性パラメータファイルのサンプル (hp2_in. atr)>

```
#####hp2_in. atr#####  
#HP plotter model  
no. (ANY, HP-GL/2, HP7475A, HP7550A, HP7580X (HP7580A, HP7585A))  
#HP7590X (HP7595X, HP7596X)  
IN_VERSION=HP-GL/2  
#IN_VERSION=HP7580X  
#IN_VERSION=HP7590X  
#pen & line_color table  
PENCOLOR=(P1=1, P2=2, P3=3, P4=4, P5=5, P6=6, P7=7, P8=8)  
#symbol_height_scale  
IN_SYMHT = 1.0  
#symbol_width_scale  
IN_SYMWD = 1.0  
#pen & layer table (DXF_OUT, IGES_OUT)  
#PENLAYER=(P1=L1, P2=L2, P3=L3, P4=L4, P5=L5, P6=L6, P7=L7, P8=L8)  
#SP paper feed mode (Y:paper feed N:not pen)  
SP_PAPERFEED = N  
# coordinates origin point (0:ignore(default) , 1:available)  
#GENTEN_MODE = 1  
#fill mode (0:output fill(dafault) , -1:input fill , -2:not fill)  
#FILL_MODE = 0  
##### end hp2_in. atr#####
```

<HPGL 入力データ用変換属性パラメータファイルのサンプル(hp2_in. atr)>

```
#####hpgl_in. atr#####
#HP plotter model no. (HP7475A, HP7550A, HP7580X (HP7580A, HP7585A))
#
#IN_VERSION=HP7475A
#IN_VERSION=HP7550A
IN_VERSION=HP7580X
#pen & line_color table
PENCOLOR=(P1=1, P2=2, P3=3, P4=4, P5=5, P6=6, P7=7, P8=8)
#symbol_height_scale
IN_SYMHT = 1.0
#symbol_width_scale
IN_SYMWD = 1.0
#pen & layer table (DXF_OUT, IGES_OUT)
#PENLAYER=(P1=L1, P2=L2, P3=L3, P4=L4, P5=L5, P6=L6, P7=L7, P8=L8)
#SP paper feed mode (Y:paper feed N:not pen)
SP_PAPERFEED = N
# coordinates origin point (0:ignore(default) , 1:available)
#GENTEN_MODE = 1
#fill mode (0:output fill(dafault) , -1:input fill , -2:not fill)
#FILL_MODE = 0
##### end hpgl_in. atr#####
```

<OFI 入力データ用変換属性パラメータファイルのサンプル(ofi_in. atr)>

```
##### ofi_in. atr #####
PENCOLOR=(P1=1, P2=2, P3=3, P4=4, P5=5, P6=6, P7=7, P8=8)
#symbol_height_scale
IN_SYMHT = 1.0
#symbol_width_scale
IN_SYMWD = 1.0
# fill pattern mode (0:output_fill, -1:input_fill (default), -2:fill_off)
FILL_MODE = -1
# pen width/color table(H, M, L&acolor)
HML_COLOR=(H=1, M=2, L=3)
#pen width
HML_LINEWIDTH=(H=0.5, M=0.3, L=0.1)
# input dash pattern length (Y:avairable , N:ignore(default))
DASH_PATTERN_MODE = C
#text line width (Y:avairable , N:ignore(default))
TEXT_LINEWIDTH_ENABLE=Y
##### end ofi_in. atr #####
```

◆出力属性データ変換パラメータ

DWF ファイルのプロパティを設定します。

AUTHOR : ファイル作成者を設定します。
CREATOR : ファイルを作成するアプリケーション名を設定します。
COMMENTS : コメントを設定します。
COPYRIGHT : 著作権名を設定します。
DESCRIPTION : 説明を設定します。
KEYWORD : キーワードを設定します。
TITLE : タイトルを設定します。
COLORWIDTH : 出力データの線幅を変更
COLORRGB : 出力データの色を変更
URL_SETTEXT : DWF ファイルに埋め込む URL について情報を記述したテキストを指定します。
URL_FONTNAME : DWF ファイルに埋め込む URL のフォントを設定します。
COMPRESS_MODE : DWF データの圧縮、非圧縮を設定します。

DWF 出力データ用変換属性パラメータファイルのサンプル(dwf_out.atr)

```
#####dwf_out.atr#####  
#Author (default KCS)  
AUTHOR=KCS  
#Comments (default )  
COMMENTS=  
#Copyright (default )  
COPYRIGHT=  
#Creator (default)  
CREATOR=  
#Description (default )  
DESCRIPTION=  
#Keywords (default )  
KEYWORD=  
#Title (default )  
TITLE=  
#symbol_height_scale (default 1.0)  
#OUT_SYMHT = 1.0  
#symbol_width_scale (default 1.0)  
#OUT_SYMWD = 1.0  
#symbol_space (unit : mm) (default 0.0)  
#OUT_SYMSP = 0.0  
# color/width cross conversion table mm (max 256 tables)  
COLORWIDTH=(C1=1, C2=1, C3=0.3, C4=0.4, C5=0.5, C6=0.6, C7=0.7, C8=0.8)  
#index color table (C1 --> C256)  
#black:0,0,0 red:1000,0,0 white:1000,1000,1000  
COLORRGB=(C1=0,0,1000, C2=1000,0,0, C3=1000,1000,1000, C4=0,1000,0)  
#COLORRGB=(C5=500,500,500, C6=0,1000,1000, C7=0,1000,1000, C8=1000,0,1000)  
# auto offset & auto paper_size margin(unit:mm) used -ag option  
AUTO_OFFSET_X = 0.0  
AUTO_OFFSET_Y = 0.0  
#url set text  
#URL_SETTEXT=url.txt  
#URL_FONTNAME=Arial  
COMPRESS_MODE = 1  
#####end dwf_out.atr#####
```

サンプル

操作例 1 (hpXdt ファイルを出力ファイル名「hpXdt.dwf」で出力)

```
A>HPXTODWF hpXdt -0hpXdt.dwf  
た  
だ  
い  
ま  
、  
フ  
ァ  
イ  
ル  
変  
換  
中  
で  
す  
。  
  
HPXTODWF 変換終了
```

操作例 2 (hpXdt ファイルを出力ファイル名「hpXdt.dwf」にし、スケール 2 倍で出力)

```
A>HPXTODWF hpXdt -0hpXdt.dwf -S2.0  
た  
だ  
い  
ま  
、  
フ  
ァ  
イ  
ル  
変  
換  
中  
で  
す  
。  
  
HPXTODWF 変換終了
```

操作例 3 (hpXdt ファイルを出力ファイル名「hpXdt.dwf」にし、A4 用紙サイズにあわせて出力)

```
A>HPXTODWF hpXdt -0hpXdt.dwf -A -P4  
た  
だ  
い  
ま  
、  
フ  
ァ  
イ  
ル  
変  
換  
中  
で  
す  
。  
  
HPXTODW 変換終了
```

操作例 4 (マルチページ hpXd ファイルを出力ファイル名「hpXdt.dwf」にし、シングルページ (hpXdt_1.dwf, hpXdt_2.dwf -hpXdt_3.dwf) を出力)

```
A>HPXTODWF hpXdt -0hpXdt.dwf -MFILE  
た  
だ  
い  
ま  
、  
フ  
ァ  
イ  
ル  
変  
換  
中  
で  
す  
。  
  
HPXTODW 変換終了
```

制限事項

- ◆ オフセット (-X, -Y) を指定する場合、負の数は使用できません。
- ◆ このアプリケーションでは DWF V06.00 を出力します。
- ◆ 同一 PC 上で多重起動する事はできません。